



防災だより

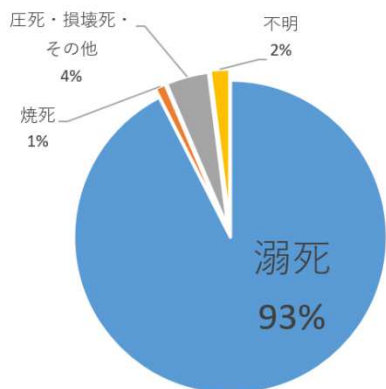
(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



3月11日 東日本大震災を忘れない

東日本大震災の概要

日時:平成 23 年3月 11 日 14:46 頃
震源:宮城県牡鹿半島島南東沖 130km 付近
最大震度:マグニチュード 9.0
<高さ 8.5m以上(観測不能)の大津波>
<約 2 万人の犠牲>
※9 割以上が津波による溺死!



震災による避難時の教訓

1. できるだけ早く高いところに!
2. 一度避難したら戻らない!
3. 日頃の備え・訓練が命をつなぐ!

日頃の備えの有無や避難開始時間の違いで、津波が到達するまでに安全な場所へ避難できていた人の割合が変わってくる事が報告されています。

日頃の備えとは

- ・住宅の耐震化
- ・家具等の固定
- ・津波一時避難場所の確認
- ・防災勉強会への参加
- ・避難訓練の実施 など

災害はいつ来るか分かりません!

能登半島の支援から得たもの

被災地支援活動のため、愛南町から3名の職員派遣を行いました。

支援期間:令和6年1月 22 日~31 日
活動場所:鵜巣小学校
支援内容:避難所運営支援

- ・本部周りでの要望対応
- ・給水車からの水の確保
- ・支援物資の受け渡し
- ・シャワールームの管理
- ・避難所内の清掃

避難所は避難者自らが運営しており、職員の支援に頼り切らず、状況を少しでも良くしようと皆で頑張っていた。避難所運営の理想の姿である。

愛南町と奥能登地域は、似た地域性であると感じたが、災害時には能登半島地震に津波被害が上乗せされる。災害への備え、復旧・復興の事前準備が重要であり、行政だけに限らず、地域、個人が我が事としなければ、今後起こりうる大災害を乗り越えることはできない。

災害に備えましょう！

～愛媛県防災士養成講座のご案内～

防災士って？

「自助・共助・協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人です。防災・減災に関するスキルを習得して生かすこと、そして、職場や地域の防災力を高めるため、防災・減災活動につとめることが期待されています。

全国 2 位！

防災士の基本理念

- **自助** 自分の命は自分で守る
- **共助** 地域・職場で助け合い被害拡大を防ぐ
- **協働** 町民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する

愛媛県の防災士はなんと 22,318 人！
愛南町の防災士は 276 人で
町民の 69 人に 1 人は防災士です！



資格取得について

令和 6 年度の詳しい日程については未定ですが、6 月頃に受講者を募集し、9 月と 1 月に養成講座が開催される予定です。なお、費用は市町が全額負担します。

南海トラフ地震や大規模災害の発生頻度が高まっている中で、地域防災力向上に向け、積極的な防災士取得への取組みを進めています。

愛媛県防災士養成講座についての詳しい内容につきましては防災対策課までお問い合わせください。

知っていますか？

最年少の防災士はなんと 9 歳！
9 歳で資格取得した人は全国で 9 人います。

資格取得までの流れ

- ・ 防災対策課へ申請 (自主防災会推薦が必要)
- ・ レポートの提出
- ・ 2 日間の講座受講
- ・ 資格取得試験の受験
(※30 問中 24 問正答で合格)
- ・ 合格したら申請書を防災対策課へ提出
(別途 普通救命講習の受講が必要)

講座カリキュラム

- ・ 防災士に期待される活動
- ・ 自主防災活動と地区防災計画
- ・ 避難所の開設と運営
- ・ ハザードマップと災害図上訓練
- ・ 災害関連情報と予報・警報
- ・ 気象災害・風水害
- ・ 地震・津波への備え
- ・ 災害ボランティア活動 ほか

【お問合せ先】防災対策課 TEL:0895-72-0131